

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2017-534416

(P2017-534416A)

(43) 公表日 平成29年11月24日(2017.11.24)

(51) Int.Cl.
A45D 34/04 (2006.01)

F I
A45D 34/04 515C

テーマコード(参考)

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2017-537881 (P2017-537881)
 (86) (22) 出願日 平成28年1月21日 (2016.1.21)
 (85) 翻訳文提出日 平成29年4月4日 (2017.4.4)
 (86) 国際出願番号 PCT/KR2016/000617
 (87) 国際公開番号 W02017/026608
 (87) 国際公開日 平成29年2月16日 (2017.2.16)
 (31) 優先権主張番号 10-2015-0111606
 (32) 優先日 平成27年8月7日 (2015.8.7)
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)

(71) 出願人 517119394
 ピョン, ヨン チャン
 大韓民国 14500 キョンギード ブ
 チョン-シ, ウォンミン-グ, ピョンチョ
 ン-ロ, 679, 112-103 (プチョ
 ン 1パーク アpartment, ヤクテ
 トン)
 (74) 代理人 100115200
 弁理士 山口 修之
 (72) 発明者 ピョン, ヨン チャン
 大韓民国 14500 キョンギード ブ
 チョン-シ, ウォンミン-グ, ピョンチョ
 ン-ロ, 679, 112-103 (プチョ
 ン 1パーク アpartment, ヤクテ
 トン)

最終頁に続く

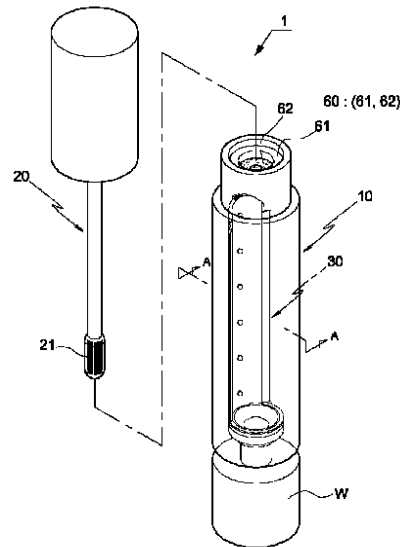
(54) 【発明の名称】 ワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器

(57) 【要約】

【課題】化粧品の残余物をよりきれいに掻き落とし、化粧品容器のサイズを小さく製作し、化粧ブラシに多量の化粧品が付いて出ることを防止するワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器を提供する。

【解決手段】本発明によるワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器は、化粧品容器の内壁を掻くスクレーパーに弾性素材のワイパー手段を提供し、スクレーパーの両側面に側面ブレードを形成することにより、スクレーパーで掻き落とすことができなかった化粧品の残余物をよりきれいに掻き落とし、化粧品容器の内部に化粧ブラシの端部がもっと挿入されるロッド収容孔を形成することによって化粧品容器のサイズを小さく製作し、化粧品容器の上部に調節綿が備えられた調節パッキングを備えることによって、化粧ブラシに過量の化粧品が付いて出ることを防止し、スクレーパーの内面に螺旋状の突起を形成することによって、掻き落とされた化粧品を下方に移動させる効果がある。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

液状化粧品（C）を内部に収容した後、室外で携帯して使うスクレーパー用化粧品容器（1）であって、

前記化粧品（C）を内部に収容するように上部が開放し、下面に穿孔部（11）が形成された円筒形状の容器本体（10）と、

前記容器本体（10）の上部に装着され、前記化粧品（C）を外部に取り出す化粧ブラシ（21）が下端部に備えられた化粧ブラシカバー（20）と、

前記容器本体（10）の内部に備えられるもので、下部に前記穿孔部（11）を貫く回転ロッド（31）が備えられ、上部に前記容器本体（10）の内側面と接触する曲面板状のスクレーパー（32）が備えられ、前記スクレーパー（32）の一面に垂直方向に凹設されたワイパー収容溝（33）が形成されたスクレーパー手段（30）とを含んでなり、

前記ワイパー収容溝（33）には、前記スクレーパー手段（30）が回転するとき、前記容器本体（10）の内側面に接触して前記化粧品（C）を掻き落とすように垂直方向に伸びた弾性素材のワイパー手段（40）が備えられることを特徴とする、ワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器。

【請求項 2】

前記ワイパー手段（40）は、前記容器本体（10）の内側面に接触するように前方にワイパーブレード（411）が突出したワイパー本体（41）と、前記ワイパー本体（41）の外側面を覆った状態で固定されるように前記ワイパーブレード（411）が貫通する貫通孔（421）が形成されたワイパー装着具（42）とを含んでなることを特徴とする、請求項 1 に記載のワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器。

【請求項 3】

前記ワイパー本体（41）の内側面には、前記ワイパー本体（41）が前記容器本体（10）の内側面に接触したままで回転するとき、支持力を向上させるために多数の固定突起（412）が形成され、

前記ワイパー収容溝（33）の底面には、前記固定突起（412）が挿入される多数の突起孔（331）が形成されることを特徴とする、請求項 2 に記載のワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器。

【請求項 4】

前記スクレーパー（32）の両側面には、前記スクレーパー手段（30）が回転するとき、前記容器本体（10）の内壁に存在する化粧品（C）を掻き落とすように前記容器本体（10）の内側面方向に伸びた側面ブレード（50）が形成されることを特徴とする、請求項 1 に記載のワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器。

【請求項 5】

前記回転ロッド（31）の上面には、前記化粧ブラシ（21）が前記容器本体（10）の底面より下側に挿入されるように、前記回転ロッド（31）の上面から下方に所定の高さの分だけ凹設されたロッド収容孔（311）が形成されることを特徴とする、請求項 1 に記載のワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器。

【請求項 6】

前記容器本体（10）の上部には、前記化粧ブラシカバー（20）の化粧ブラシ（21）が外部に離脱するとき、前記化粧ブラシ（21）の外周面に接触して過量の化粧品（C）を調節するように円筒形状の調節パッキング（60）が備えられることを特徴とする、請求項 1 に記載のワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器。

【請求項 7】

前記調節パッキング（60）は、前記容器本体（10）の上端部内側に装着され、前記化粧ブラシ（21）が上下方に貫通するように上下面が開放した円筒形状のパッキング本体（61）と、前記パッキング本体（61）の内部に備えられ、前記化粧ブラシ（21）が外部に取り出されるとき、化粧品（C）を吸収するように上下面が開放したスポンジ素材の調節綿（62）とを含んでなることを特徴とする、請求項 6 に記載のワイパーを備え

10

20

30

40

50

たスクレーパー用化粧品容器。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器に係り、より詳しくは、化粧品容器の内壁を掻くためのスクレーパーで掻くことができなかつた化粧品の残余物をよりきれいに掻き落とすことができるようにスクレーパーに弾性素材のワイパー手段及び側面ブレードが備えられ、化粧品容器のサイズを小さく製作するために化粧ブラシの端部がもっと挿入されるロッド収容孔が形成され、化粧ブラシに過量の化粧品が付いて出ることを防止するように化粧品容器の上部に調節綿を設けた調節パッキングが備えられたワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器に関するものである。

10

【背景技術】

【0002】

一般に、マスカラ又はリップグロスに使われる化粧品容器はその収容量が少量で、使用者が手軽く使うことができ、携帯が容易になるように小型に開発されていた。

このような従来 of 化粧品容器に対する公開技術文献として大韓民国登録実用新案第20-0394669号が開示されている。図1は従来 of 化粧品容器を示した断面図である。

【0003】

ここで、従来 of 化粧品容器は、図1に示したように、化粧品（マスカラ液又はリップグロス液）Cを収容するように形成された筒状の容器本体2と、前記容器本体2の内部を密閉するように上部で着脱される栓部3と、前記栓部3の下部に設けられ、前記化粧品Cを外部に取り出して化粧を行うブラシ5が一端部に備えられた化粧ブラシ棒4と、前記容器本体2の上部に備えられ、前記ブラシ5が外部に取り出されるときにそれに付いている化粧品Cの量を適切に調節するブレード手段7とからなっている。

20

【0004】

このような構成を有する従来 of 化粧品容器は、前記容器本体2の内部に収容された化粧品Cを前記ブラシ5で外部に取り出した後、使用者の化粧部位に塗布する方式で使われる。

【0005】

しかし、従来 of 化粧品容器は、前記容器本体2が通常円筒形状に形成され、前記化粧品容器の化粧品Cを全て使った場合、粘性を有する化粧品Cの特性上、前記容器本体2の内壁に残存するため、前記容器本体2の内部に収容された化粧品Cを全部使うことができない問題点があった。

30

【0006】

また、従来 of 化粧品容器は、前記容器本体2の内壁に残存する化粧品Cが空気と接触して一定時間の経過後に固形化するため、前記化粧品Cを再充電して使う場合、化粧品Cに異物が含まれる問題点があった。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0007】

40

【特許文献1】大韓民国登録実用新案第20-0394669号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

本発明は前記のような従来技術の問題点を解決するためになされたもので、本発明の目的は、化粧品容器の内壁を掻くスクレーパーに弾性素材のワイパー手段を提供し、スクレーパーの両側面に側面ブレードを形成することにより、スクレーパーで掻き落とすことができなかつた化粧品の残余物をよりきれいに掻き落とし、化粧品容器の内部に化粧ブラシの端部がもっと挿入されるロッド収容孔を形成することによって化粧品容器のサイズを小さく製作し、化粧品容器の上部に調節綿が備えられた調節パッキングを備えることによ

50

て化粧ブラシに過量の化粧品が付いて出ることを防止するワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0009】

上記目的を達成するための本発明によるワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器は、液状化粧品を内部に収容した後、室外で携帯して使うスクレーパー用化粧品容器であって、前記化粧品を内部に収容するように上部が開放し、下面に穿孔部が形成された円筒形状の容器本体と；前記容器本体の上部に装着され、前記化粧品を外部に取り出す化粧ブラシが下端部に備えられた化粧ブラシカバーと；前記容器本体の内部に備えられるもので、下部に前記穿孔部を貫く回転ロッドが備えられ、上部に前記容器本体の内側面と接触する曲面板状のスクレーパーが備えられ、前記スクレーパーの一面に垂直方向に凹設されたワイパー収容溝が形成されたスクレーパー手段とを含んでなり、前記ワイパー収容溝には、前記スクレーパー手段が回転するとき、前記容器本体の内側面に接触して前記化粧品を掻き落とすように垂直方向に伸びた弾性素材のワイパー手段が備えられることを特徴とする。

10

【0010】

前記ワイパー手段は、前記容器本体の内側面に接触するように前方にワイパーブレードが突出したワイパー本体と、前記ワイパー本体の外側面を覆った状態で固定されるように前記ワイパーブレードが貫通する貫通孔が形成されたワイパー装着具とを含んでなることができる。

20

【0011】

前記ワイパー本体の内側面には、前記ワイパー本体が前記容器本体の内側面に接触したままで回転するとき、支持力を向上させるために多数の固定突起が形成され、前記ワイパー収容溝の底面には、前記固定突起が挿入される多数の突起孔が形成されることができ

る。

【0012】

前記スクレーパーの両側面には、前記スクレーパー手段が回転するとき、前記容器本体の内壁に存在する化粧品を掻き落とすように前記容器本体の内側面方向に伸びた側面ブレードが形成されることができ

る。

【0013】

前記回転ロッドの上面には、前記化粧ブラシが前記容器本体の底面より下側に挿入されるように、前記回転ロッドの上面から下方に所定の高さの分だけ凹設されたロッド収容孔が形成されることができ

30

る。

【0014】

前記容器本体の上部には、前記化粧ブラシカバーの化粧ブラシが外部に離脱するとき、前記化粧ブラシの外周面に接触して、過量の化粧品を調節するように円筒形状の調節パッキングが備えられることができ

る。

【0015】

前記調節パッキングは、前記容器本体の上端部内側に装着され、前記化粧ブラシが上下方に貫通するように上下面が開放した円筒形状のパッキング本体と、前記パッキング本体の内部に備えられ、前記化粧ブラシが外部に取り出されるとき、化粧品を吸収するように上下面が開放したスポンジ素材の調節綿とを含んでなることができ

40

【発明の効果】

【0016】

このように本発明によるワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器は次のような効果がある。

【0017】

一つ目、化粧品容器の内壁を掻くスクレーパーに弾性素材のワイパー手段を備えることで、スクレーパーで掻き落とすことができなかつた化粧品の残余物をよりきれいに掻き落とすことができ、内部に収容された化粧品を浪費なしに全部使うことができる。

50

【0018】

二つ目、スクレーパーの両側面に容器本体の内壁面方向に伸びた側面ブレードを形成することで、スクレーパーの両側端部が掻き落とすことができなかつた化粧品をより強い接触力で掻き落とすことにより、化粧品の残余物が発生することを事前に防止することができる。

【0019】

三つ目、化粧品容器の内部に備えられたスクレーパーの底面に下方に凹設されたロッド収容孔を提供することで、従来に化粧ブラシの長さの分だけ化粧品容器をもっと長く製作しなければならない問題点をロッド収容孔の長さの分だけ小さくして化粧品容器のサイズを小さく製作することができる。

10

【0020】

四つ目、化粧品容器の上部に、化粧ブラシが外部に取り出されるとき、その外面を拭くように内部に調節綿が備えられた調節パッキングを備えることで、化粧ブラシに過量の化粧品が付いて化粧が不便になる問題点を解決することができるとともに、化粧ブラシを挿入する場合、残った化粧品が汚く付くことを事前に防止することができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【0021】

【図1】従来の化粧品容器を示した断面図である。

【図2】本発明による化粧品容器を示した斜視図である。

【図3】本発明による化粧品容器の内部構造を示した部分分解斜視図である。

20

【図4】図2に示したA-A線についての断面図で、ワイパー部の作用を示した断面図である。

【図5】図2に示したA-A線についての断面図で、ブレードの作用を示した断面図である。

【図6】本発明によるロッド収容孔の作用を示した部分正断面図である。

【図7】本発明による調節パッキングの作用を示した部分正断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0022】

以下、添付図面に基づいて本発明の一実施例を詳細に説明する。

【0023】

30

本発明によるワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器は、図2～図4に示したように、液状化粧品Cを内部に収容した後、室外で携帯して使うスクレーパー用化粧品容器1であって、前記化粧品Cを内部に収容するように上部が開放し、下面に穿孔部11が形成された円筒形状の容器本体10と；前記容器本体10の上部に装着され、前記化粧品Cを外部に取り出す化粧ブラシ21が下端部に備えられた化粧ブラシカバー20と；前記容器本体10の内部に備えられるもので、下部に前記穿孔部11を貫く回転ロッド31が備えられ、上部に前記容器本体10の内側面と接触する曲面板状のスクレーパー32が備えられ、前記スクレーパー32の一面に垂直方向に凹設されたワイパー収容溝33が形成されたスクレーパー手段30とを含んでなる。

【0024】

40

ここで、前記ワイパー収容溝33には、前記スクレーパー手段30が回転するとき、前記容器本体10の内側面に接触して前記化粧品Cを掻き落とすように垂直方向に伸びた弾性素材のワイパー手段40が備えられる。

【0025】

一方、前記化粧ブラシカバー20の内周面には前記容器本体10の上部を密閉するようにネジ部（図示せず）が形成され、前記容器本体10の上部外周面には前記ネジ部が締結される容器ネジ部（図示せず）が形成されることが好ましい。

【0026】

また、前記容器本体10の下部には、前記回転ロッド31に締結され、前記スクレーパー手段30を回転させる円筒形状の回転取っ手Wが備えられることが好ましい。

50

【 0 0 2 7 】

一方、前記スクレーパー 3 2 の内側面には、前記容器本体 1 0 の内部に充填された化粧品 C を前記スクレーパー手段 3 0 の回転時に下方に容易に移動させることができるように下方に傾いた螺旋状のスクリュウ突起（図示せず）が形成されることが好ましい。

【 0 0 2 8 】

そして、前記ワイパー手段 4 0 は、前記容器本体 1 0 の内側面に接触するように外方にワイパーブレード 4 1 1 が突出したワイパー本体 4 1 と、前記ワイパー本体 4 1 の外側面を覆った状態で固定されるように前記ワイパーブレード 4 1 1 が貫通する貫通孔 4 2 1 が形成されたワイパー装着具 4 2 とからなる。

【 0 0 2 9 】

一方、前記ワイパー装着具 4 2 とワイパー収容溝 3 3 の接触面は超音波接着で接着して前記ワイパー本体 4 1 を堅固に固定することが好ましい。

【 0 0 3 0 】

また、前記ワイパー本体 4 1 の内側面には、前記ワイパー本体 4 1 が前記容器本体 1 0 の内側面に接触したままで回転する場合、支持力が向上するように多数の固定突起 4 1 2 が形成され、前記ワイパー収容溝 3 3 の底面には前記固定突起 4 1 2 が挿入される多数の突起孔 3 3 1 が形成される。

【 0 0 3 1 】

そして、前記スクレーパー 3 2 の両側面には、図 5 に示したように、前記スクレーパー手段 3 0 が回転するとき、前記容器本体 1 0 の内壁に存在する化粧品 C が掻き落とされるように前記容器本体 1 0 の内側面方向に伸びた側面ブレード 5 0 が形成される。

【 0 0 3 2 】

また、前記回転ロッド 3 1 の上面には、図 6 に示したように、前記化粧ブラシ 2 1 が前記容器本体 1 0 の底面より下方に挿入されるように、前記回転ロッド 3 1 の上面から下方に所定の深さだけロッド収容孔 3 1 1 が凹設される。

【 0 0 3 3 】

そして、前記容器本体 1 0 の上部には、図 7 に示したように、前記化粧ブラシカバー 2 0 の化粧ブラシ 2 1 が外部に離脱するとき、前記化粧ブラシ 2 1 の外周面に接触して過剰に付いている化粧品 C の量を調節するために、円筒形状の調節パッキング 6 0 が備えられる。

【 0 0 3 4 】

一方、前記調節パッキング 6 0 の外周面には、前記容器本体 1 0 の上端部内側に締結されるように、ネジ部が形成されることが好ましい。

【 0 0 3 5 】

そして、前記調節パッキング 6 0 は、前記容器本体 1 0 の上端部内側に装着され、前記化粧ブラシ 2 1 が上下方に貫通するように上下面が開放した円筒形状のパッキング本体 6 1 と、前記パッキング本体 6 1 の内部に設けられ、前記化粧ブラシ 2 1 が外部に取り出されるときに化粧品 C を吸収するように上下面が開放したスポンジ素材の調節綿 6 2 とからなる。

【 0 0 3 6 】

このように構成された本発明の一実施例によるワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器の作用を説明すると次のようである。

【 0 0 3 7 】

本発明によるワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器は、液状化粧品 C を内部に収容した後、室外で携帯して使うスクレーパー用化粧品容器 1 である。

【 0 0 3 8 】

すなわち、前記化粧品 C が内部に収容された容器本体 1 0 の上部に化粧ブラシ 2 1 を備えた化粧ブラシカバー 2 0 を提供することにより、使用時に前記化粧ブラシカバー 2 0 を取り出して使い、非使用時に前記化粧ブラシカバー 2 0 で密閉して便利に携帯することができる。

10

20

30

40

50

【0039】

この際、前記化粧品Cを収容した容器本体10の内部には、下方に貫通され、前記容器本体10の内壁面を掻く曲面板状、つまり杓子状のスクレーパー手段30が備えられることにより、前記容器本体10の内壁面に付いている化粧品Cの残余物を容易に下方に掻き落とすことができる。

【0040】

これにより、前記化粧品容器1の内部に収容された化粧品Cを浪費なしにすっかり消耗することができる。

【0041】

ここで、前記スクレーパー手段30の一面には、前記容器本体10の内壁面に緊密に接触することができるように垂直方向に伸びた弾性素材のワイパー手段40が備えられることにより、前記スクレーパー手段30と容器本体10の内壁面の間に流入する化粧品Cをよりきれいに掻き落とすことができる。

10

【0042】

この際、前記ワイパー手段40は、前記スクレーパー手段30に装着できるように前方にワイパーブレード411が突出したワイパー本体41と、前記ワイパー本体41の前方面を覆い、前記ワイパー収容溝33に装着されるワイパー装着具42とを備えることにより、前記容器本体10の内壁を掻くワイパー本体41が前記スクレーパー手段30から分離されないように堅固に付着させることができる。

【0043】

ここで、前記ワイパー装着具42の内面には前記ワイパーブレード411が貫通するように貫通孔421が形成されることにより、前記ワイパーブレード411が前記容器本体10の内壁面に接触することができる。

20

【0044】

そして、前記ワイパー本体41の内側面には多数の固定突起412が形成され、前記ワイパー収容溝33の底面には前記固定突起412が挿入される多数の突起孔331が形成されることにより、前記ワイパー本体41が前記容器本体10の内側面に接触したままで回転するとき、支持力を向上させて、前記ワイパー本体41が離脱することを事前に防止することができる。

【0045】

一方、前記スクレーパー32の両側面には前記容器本体10の内壁面方向に伸びた側面ブレード50が形成されることにより、前記スクレーパー32の両側端部が前記容器本体10の内壁に接触する加圧力よりもっと高い加圧力を与えて化粧品Cをより多く掻き落とすことができる。

30

【0046】

また、前記回転ロッド31の上には、前記化粧ブラシ21が前記容器本体10の底面より下側に挿入されるように、前記回転ロッド31の上面から下方に所定の深さだけ凹設されたロッド収容孔311が形成されることにより、既存の化粧ブラシ31の長さの分だけ前記化粧品容器1を長く製作しなければならない問題点を前記ロッド収容孔311によって解消し、化粧品容器1のサイズを小さく製作することができる。

40

【0047】

そして、前記容器本体10の上部には、前記化粧ブラシカバー20の化粧ブラシ21が外部に取り出されるとき、前記化粧ブラシ21の外周面に過剰に付いて出る化粧品Cを拭くように、内部に調節綿62を備えた調節パッキング60が備えられることにより、前記化粧ブラシ21に多量の化粧品が付いて化粧が不便な問題点を解決することができるとともに、前記化粧ブラシ21を使ってから挿入するとき、容器本体10の外部に残余化粧品Cが汚く付くことを事前に防止することができる。

【0048】

本発明は前述した特定の好適な実施例に限定されず、請求範囲で請求する本発明の要旨を逸脱することなしに、本考案が属する技術分野で通常の知識を有する者であれば誰でも

50

多様な変形実施が可能であるのはもちろんのこと、そのような変形は請求範囲記載の範囲内に属するものである。

【産業上の利用可能性】

【0049】

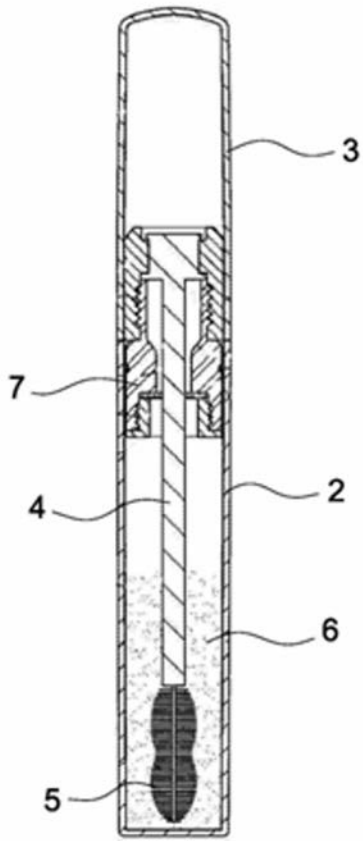
本発明は、化粧品の残余物をよりきれいに掻き落とし、化粧品容器のサイズを小さく製作し、化粧ブラシに過量の化粧品が付いて出ることを防止するワイパーを備えたスクレーパー用化粧品容器に適用可能である。

【符号の説明】

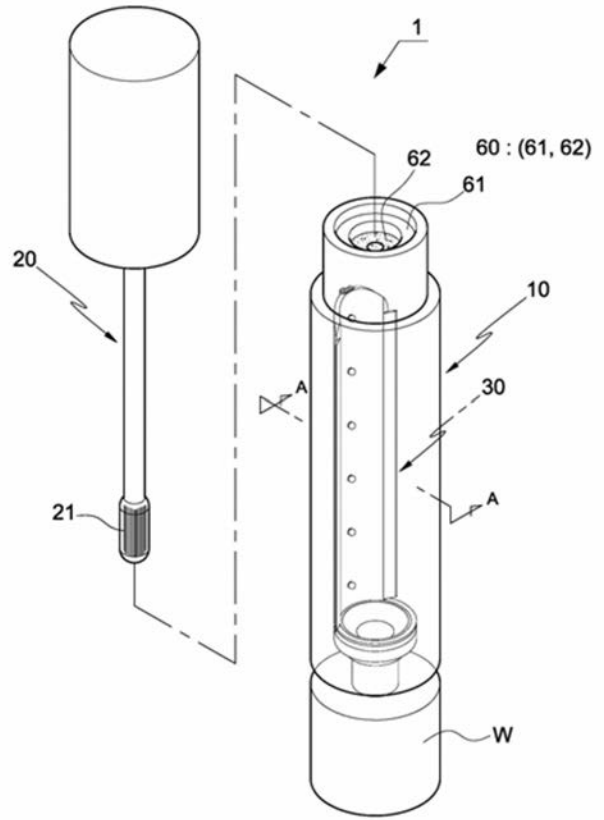
【0050】

1	化粧品容器	10
10	容器本体	
11	穿孔部	
20	化粧ブラシカバー	
21	化粧ブラシ	
30	スクレーパー手段	
31	回転ロッド	
311	ロッド収容孔	
32	スクレーパー	
33	ワイパー収容溝	
331	突起孔	20
40	ワイパー手段	
41	ワイパー本体	
411	ワイパーブレード	
412	固定突起	
42	ワイパー装着具	
421	貫通孔	
50	側面ブレード	
60	調節パッキング	
61	パッキング本体	
62	調節綿	30
C	化粧品	
W	回転取っ手	

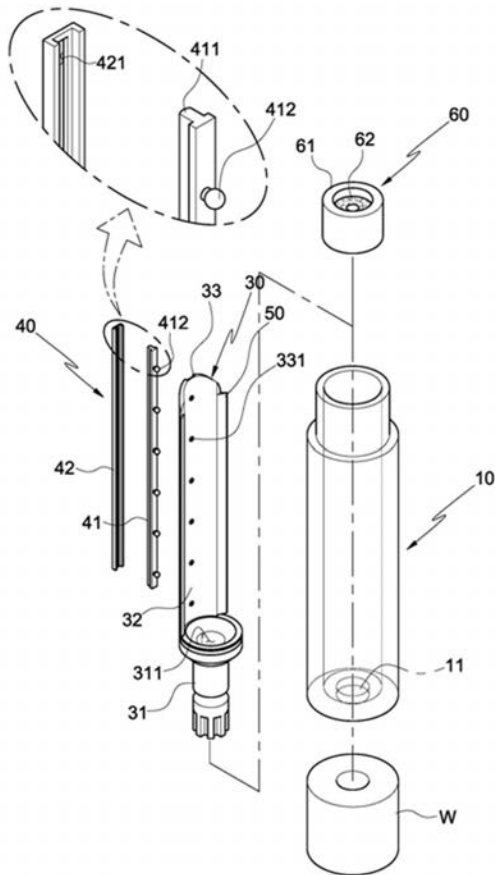
【 図 1 】



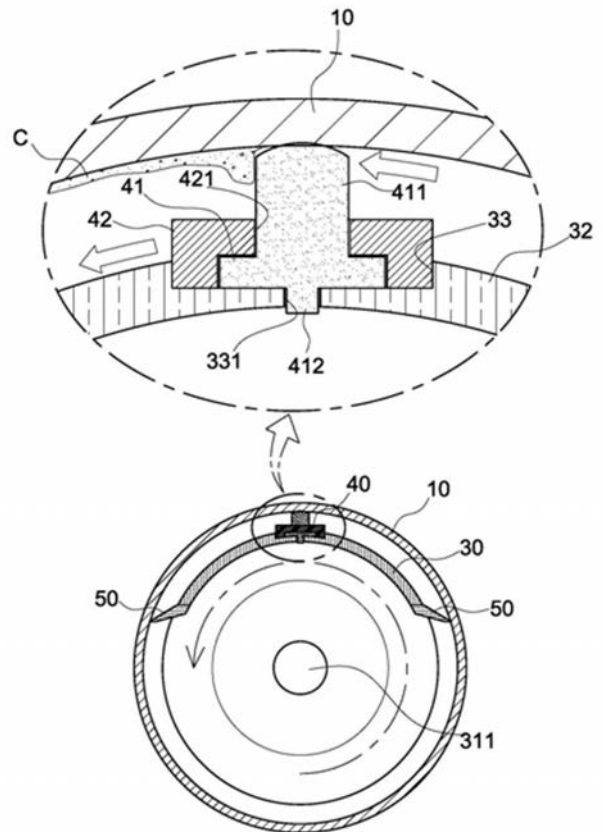
【 図 2 】



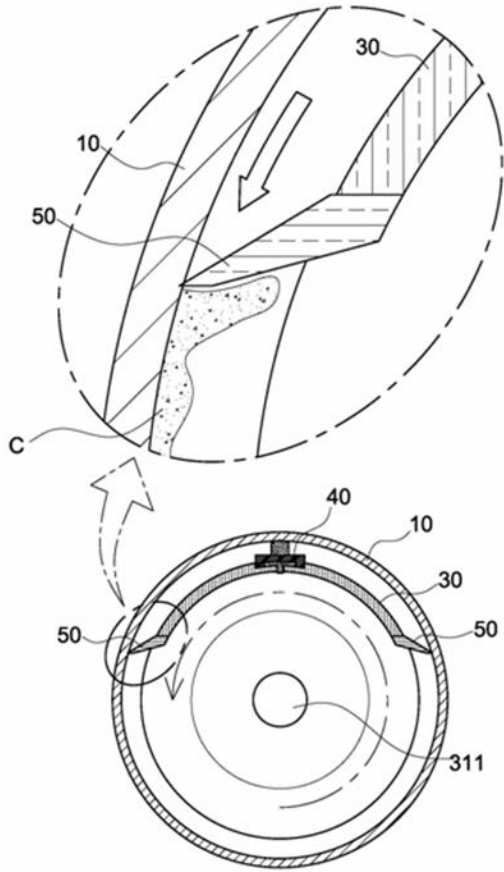
【 図 3 】



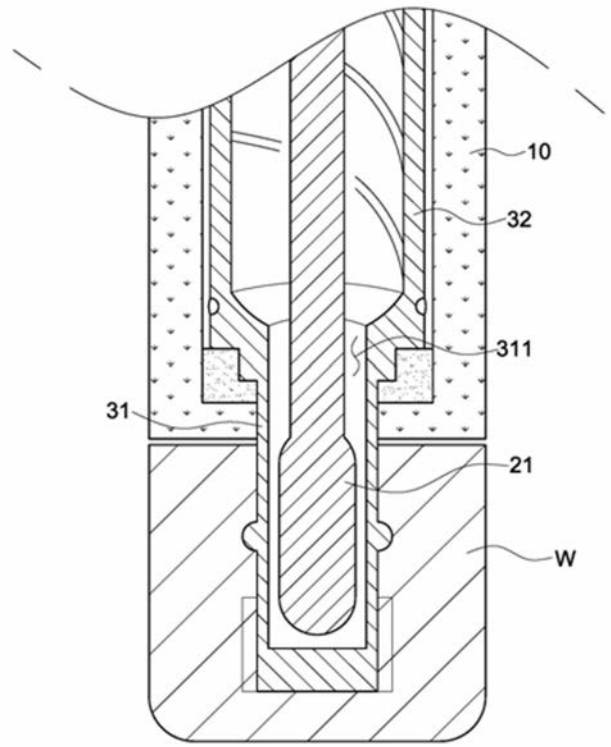
【 図 4 】



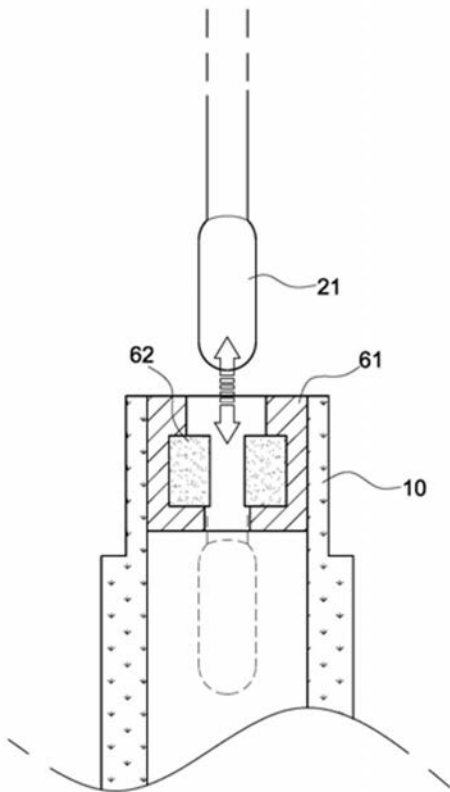
【 図 5 】




【 図 6 】



【 図 7 】



【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/KR2016/000617
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER <i>A45D 34/04(2006.01)i, B65D 25/02(2006.01)i, B65D 51/32(2006.01)i, B65D 53/02(2006.01)i</i> According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A45D 34/04; B65D 83/00; A45D 34/00; A45D 40/00; B65D 25/02; B65D 51/32; B65D 53/02 Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Korean Utility models and applications for Utility models: IPC as above Japanese Utility models and applications for Utility models: IPC as above Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) eKOMPASS (KIPO internal) & Keywords: mascara, wiper, scraper, elasticity, blade, reception groove, control packing		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	KR 10-1400178 B1 (BYUN, Young Chan) 28 May 2014 See paragraphs [0028]-[0048]; claims 1, 6-8; figures 2-5.	1-7
A	JP 2000-166642 A (NOEVIR CO., LTD.) 20 June 2000 See paragraphs [0011]-[0022]; claim 1; figures 1-4.	1-7
A	KR 20-0475967 Y1 (AMOREPACIFIC CORPORATION) 26 January 2015 See paragraphs [0035]-[0077]; claims 1-8; figures 2-7.	1-7
A	KR 20-1990-0009607 Y1 (LEE, Jin Ho) 15 October 1990 See claims 1-3; figures 1-5.	1-7
A	JP 06-000008 Y1 (TOSHINO KOGYOSHO CO., LTD.) 05 January 1994 See claim 1; figures 1, 2.	1-7
PX	KR 10-1573703 B1 (BYUN, Young Chan) 02 December 2015 See claims 1-7.	1-7
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search		Date of mailing of the international search report
19 APRIL 2016 (19.04.2016)		02 MAY 2016 (02.05.2016)
Name and mailing address of the ISA/KR  Korean Intellectual Property Office Government Complex-Daejeon, 189 Seonsa-ro, Daejeon 302-701, Republic of Korea Facsimile No. 82-42-472-7140		Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members


International application No.

PCT/KR2016/000617

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member	Publication date
KR 10-1400178 B1	28/05/2014	WO 2015-115718 A1	06/08/2015
JP 2000-166642 A	20/06/2000	JP 3923673 B2	06/06/2007
KR 20-0475967 Y1	26/01/2015	NONE	
KR 20-1990-0009607 Y1	15/10/1990	KR 20-1989-0018673 U	05/10/1989
JP 06-000008 Y1	05/01/1994	JP 63-202210 U	27/12/1988
KR 10-1573703 B1	02/12/2015	NONE	

국제조사보고서

국제출원번호
PCT/KR2016/000617

A. 발명이 속하는 기술분류(국제특허분류(IPC)) A45D 34/04(2006.01)i, B65D 25/02(2006.01)i, B65D 51/32(2006.01)i, B65D 53/02(2006.01)i		
B. 조사된 분야 조사된 최소문헌(국제특허분류를 기재) A45D 34/04; B65D 83/00; A45D 34/00; A45D 40/00; B65D 25/02; B65D 51/32; B65D 53/02 조사된 기술분야에 속하는 최소문헌 이외의 문헌 한국등록실용신안공보 및 한국공개실용신안공보: 조사된 최소문헌란에 기재된 IPC 일본등록실용신안공보 및 일본공개실용신안공보: 조사된 최소문헌란에 기재된 IPC		
국제조사에 이용된 전산 데이터베이스(데이터베이스의 명칭 및 검색어(해당하는 경우)) eCOMPASS(특허청 내부 검색시스템) & 키워드: 마스크라, 와이퍼, 스크레이퍼, 탄성, 블레이날, 수용홈, 조절패킹		
C. 관련 문헌		
카테고리*	인용문헌명 및 관련 구절(해당하는 경우)의 기재	관련 청구항
A	KR 10-1400178 B1 (변영찬) 2014.05.28 단락 [0028]-[0048]; 청구항 1, 6-8; 도면 2-5 참조.	1-7
A	JP 2000-166642 A (NOEVIR CO., LTD.) 2000.06.20 단락 [0011]-[0022]; 청구항 1; 도면 1-4 참조.	1-7
A	KR 20-0475967 Y1 ((주)아모레퍼시픽) 2015.01.26 단락 [0035]-[0077]; 청구항 1-8; 도면 2-7 참조.	1-7
A	KR 20-1990-0009607 Y1 (이진호) 1990.10.15 청구항 1-3; 도면 1-5 참조.	1-7
A	JP 06-000008 Y1 (YOSHINO KOGYOSHO CO., LTD.) 1994.01.05 청구항 1; 도면 1, 2 참조.	1-7
PX	KR 10-1573703 B1 (변영찬) 2015.12.02 청구항 1-7 참조.	1-7
<input type="checkbox"/> 추가 문헌이 C(계속)에 기재되어 있습니다. <input checked="" type="checkbox"/> 대응특허에 관한 별지를 참조하십시오.		
* 인용된 문헌의 특별 카테고리: "A" 특별히 관련이 없는 것으로 보이는 일반적인 기술수준을 정의한 문헌 "E" 국제출원일보다 빠른 출원일 또는 우선일을 가지나 국제출원일 이후에 공개된 선출원 또는 특허 문헌 "L" 우선권 주장에 의문을 제기하는 문헌 또는 다른 인용문헌의 공개일 또는 다른 특별한 이유(이유를 명시)를 밝히기 위하여 인용된 문헌 "O" 구두 개시, 사용, 전시 또는 기타 수단을 언급하고 있는 문헌 "P" 우선일 이후에 공개되었으나 국제출원일 이전에 공개된 문헌 "T" 국제출원일 또는 우선일 후에 공개된 문헌으로, 출원과 상충하지 않으며 발명의 기초가 되는 원리나 이론을 이해하기 위해 인용된 문헌 "X" 특별한 관련이 있는 문헌. 해당 문헌 하나만으로 청구된 발명의 신규성 또는 진보성이 없는 것으로 본다. "Y" 특별한 관련이 있는 문헌. 해당 문헌이 하나 이상의 다른 문헌과 조합하는 경우로 그 조합이 당업자에게 자명한 경우 청구된 발명은 진보성이 없는 것으로 본다. "&" 동일한 대응특허문헌에 속하는 문헌		
국제조사의 실제 완료일 2016년 04월 19일 (19.04.2016)	국제조사보고서 발송일 2016년 05월 02일 (02.05.2016)	
ISA/KR의 명칭 및 우편주소 대한민국 특허청 (35208) 대전광역시 서구 청사로 189, 4동 (둔산동, 정부대전청사) 팩스 번호 +82-42-481-8578	심사관 한인호 전화번호 +82-42-481-3362	

국제조사보고서
대응특허에 관한 정보

국제출원번호
PCT/KR2016/000617

국제조사보고서에서 인용된 특허문헌	공개일	대응특허문헌	공개일
KR 10-1400178 B1	2014/05/28	WO 2015-115718 A1	2015/08/06
JP 2000-166642 A	2000/06/20	JP 3923673 B2	2007/06/06
KR 20-0475967 Y1	2015/01/26	없음	
KR 20-1990-0009607 Y1	1990/10/15	KR 20-1989-0018673 U	1989/10/05
JP 06-000008 Y1	1994/01/05	JP 63-202210 U	1988/12/27
KR 10-1573703 B1	2015/12/02	없음	

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ